

施策14

快適な生活環境の維持と循環型社会の構築

(全 22 事務事業)

施策14. 快適な生活環境の維持と循環型社会の構築

● 施策評価表

● 事務事業評価表

掲載開始
ページ

1. 北筑昇華苑葬祭業使用料助成事業	(健康課)	14-1
2. 桜丘下水道処理施設跡地管理事業	(生活安全課)	14-3
3. 動物愛護事業	(生活安全課)	14-5
4. 環境調査事業	(生活安全課)	14-7
5. 町内清掃事業	(生活安全課)	14-9
6. 生活環境監視事業	(生活安全課)	14-11
7. 焼却場跡地周辺環境整備事業	(生活安全課)	14-13
8. 吉原地域活性化委員会運営事業	(生活安全課)	14-15
9. 空き地等草刈り事業	(生活安全課)	14-17
10. 宇美町・志免町衛生施設組合運営事業	(生活安全課)	14-19
11. ごみ処理事業	(生活安全課)	14-21
12. し尿処理補償事業	(生活安全課)	14-23
13. ごみ減量化推進事業	(生活安全課)	14-25
14. 資源回収推進事業	(生活安全課)	14-27
15. 福岡県地球温暖化防止活動参画事業	(生活安全課)	14-29
16. 道路違法広告物撤去事業	(都市整備課)	14-31
17. 緑化推進事業	(都市整備課)	14-33
18. 花づくり事業	(都市整備課)	14-35
19. 片峰山緑地保存事業	(都市整備課)	14-37
20. 緑地保全会支援事業	(都市整備課)	14-39
21. 河川美化活動団体支援事業	(都市整備課)	14-41
22. 森林環境譲与税活用事業	(都市整備課)	14-43

施策評価表 (事業実施年度:令和 04 年度)			前期基本計画期間 <<令和3年度~7年度>>	
体 総 合 計 系 画	基本目標	5. 環境にやさしく快適に暮らせるまち	施策統括課	生活安全課
	施策	14. 快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	関係課	都市整備課

1. 施策の成果指標の達成度

成果指標 (関連する町の取り組むべきこと)	単位	基準値	R4目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
町の環境衛生について、特に気になることがない町民の割合 14-1	%	28.4	31.6		a
		↗	35.1		
町民一人1日当たりのごみ(燃やせるごみ)の排出量 14-2	g (グラム)	626	626		a
		→	628		
1年間の資源回収量 14-3	t (トン)	822	822		c
		→	597		
自然環境保護活動を行っている町民の割合 14-4	%	10.4	10.4		c
		→	7.7		

達成度:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

14-1 マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 美化活動の促進とペットの飼い主へのマナー啓発 34位 / 53位	生活安全課

町が取り組むべきこと①	生活環境被害を軽減させるため、野良猫への無責任な餌やりに対して適切に指導するとともに、地域猫活動支援事業による不妊去勢手術を実施するなどの取組を推進します。
主な取り組み状況	・野良猫への無責任な餌やりに関しては、直接指導や助言(室内飼、地域猫への移行等)をはじめ、広報紙、環境監視作業員による巡回広報等により啓発を行った。また併せて『猫除けセンサー』の貸出を行い被害軽減を図った。 ・地域猫活動団体の不妊去勢手術に対して、手術券を交付した。また、地域猫活動支援拡充と財源の確保のため、ガバメントクラウドファンディングを実施した。
課題	・自己中心的な野良猫への餌やりが後を絶たず、繁殖の要因となっている。
R6年度取り組み方針	・地域猫活動支援事業実施要綱に基づき、活動を長く続けられる環境を整える。 ・多くの野良猫に不妊去勢手術、譲渡の機会を与えることで、繁殖を防止し生活環境被害の軽減を図る。 ・自己中心的な餌やりについては、粘り強く指導及び助言を行うとともに、『猫よけセンサー』の貸出を行い被害軽減を図る。
町が取り組むべきこと②	町内一斉清掃により、自分たちのまちは自分たちできれいにするという、環境美化に対する意識を向上させます。
主な取り組み状況	・新型コロナウイルス感染症に伴い、3年ぶりに町内一斉清掃を実施した。
課題	・事業所の参加数が少ない。
R6年度取り組み方針	・自分たちのまちは自分たちできれいにするという、住民の環境美化・保全に対する意識の向上のため、今後も町内一斉清掃を春と秋の年2回実施する。また事業所にも参加を呼びかける。
町が取り組むべきこと③	環境監視員 を効果的に活用し、不法投棄、野焼き、ペットの糞害などの生活環境に関する問題に対する啓発や指導を行います。
主な取り組み状況	・不法投棄、野焼き、ペットのふん害など生活環境に関する問題に対応するため、環境監視作業員による巡回、啓発及び指導を行った。また6月の環境月間に広報紙で特集を組み、『不法投棄』に関する記事を掲載し、啓発を行った。
課題	・不法投棄、野焼き、ペットのふん害に対する苦情が日常的に寄せられている。
R6年度取り組み方針	・引き続き、環境監視作業員を効果的に活用し、不法投棄、野焼き、ペットの糞害などの生活環境に関する問題に対する啓発や指導を行う。
町が取り組むべきことの達成状況	
<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない	

構成する事務事業(評価対象事業のみ)									
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R3 決算	R4 決算	R5 予算			
1	北筑昇華苑葬祭場使用料助成事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	7,843	9,073	8,200	成果・費用とも維持		
			合計	7,843	9,073	8,200			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
健康課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.02	0.04	0.03			
2	桜丘下水処理施設跡地管理事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	1,350	1,493	1,550	成果・費用とも維持		
			合計	1,350	1,493	1,550			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.19	0.11	0.11			
3	動物愛護事業		特定財源	1,557	1,434	2,032	D	◎	D
			一般財源	126	0	0	成果・費用とも維持		
			合計	1,683	1,434	2,032			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.50	0.48	0.77			
4	環境調査事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	934	1,065	1,324	成果・費用とも維持		
			合計	934	1,065	1,324			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.11	0.10	0.10			
5	町内清掃事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	1,052	2,915	4,015	成果・費用とも維持		
			合計	1,052	2,915	4,015			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.52	0.49	0.51			
6	生活環境監視事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	2,638	3,250	3,576	成果・費用とも維持		
			合計	2,638	3,250	3,576			
			(内 会計年度任用職員人件費)	(2,552)	(3,163)	(3,489)			
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.19	0.24	0.24			
7	焼却場跡地周辺環境整備事業		特定財源	1,518	1,494	1,548	D	-	D
			一般財源	0	0	0	成果・費用とも維持		
			合計	1,518	1,494	1,548			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.07	0.02	0.02			
8	吉原地域活性化委員会運営事業		特定財源	81,044	5,463	146,859	G	▲	G
			一般財源	0	0	845	終了廃止		
			合計	81,044	5,463	147,704			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.63	0.79	0.87			
9	空き地等草刈事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	0	0	0	成果・費用とも維持		
			合計	0	0	0			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.36	0.25	0.20			
10	道路違法広告物撤去事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	803	396	454	成果・費用とも維持		
			合計	803	396	454			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
都市整備課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.22	0.01	0.01			
11	緑化推進事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	9,335	8,761	10,020	成果・費用とも維持		
			合計	9,335	8,761	10,020			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
都市整備課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.15	0.15	0.05			
12	花づくり事業		特定財源	0	0	-	-	-	-
			一般財源	7,177	4,744	-	休止・廃止済		
			合計	7,177	4,744	-			
			(内 会計年度任用職員人件費)	(5,062)	(3,761)	-			
都市整備課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.25	0.49	-			

13	吉原地域多目的広場(仮称)維持管理事業		特定財源	-	-	-	○	S
			一般財源	-	-	-		新規事業
			合計	-	-	-		
			(内 会計年度任用職員人件費)	-	-	-		
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	-	-	-		
町が取り組むべきことを構成する事業の方向性								
ビルド	新規事業の方向性や内容	・吉原地域多目的広場(仮称)維持管理事業では、吉原地域多目的広場(仮称)の維持管理を行う。						
	拡充事業の方向性や内容	なし						
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	・吉原地域活性化委員会からの提言により、吉原地域活性化整備を進めていく中、令和5年度には多目的広場の工事が着工及び竣工の予定となり、目的が達成される見込みとなる。そのため吉原地域活性化委員会は解散の予定となり、吉原地域活性化委員会運営事業を廃止する。						
	縮小事業の方向性や内容	なし						
R6年度の町が取り組むべきことの方向性			<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持					

14-2 ごみを適切に収集して処理する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) ごみを適切に収集して処理する体制の確保 11位 / 1位	生活安全課

町が取り組むべきこと①	ごみの出し方や分別の仕方などが徹底されるよう、広報誌や町のホームページなどを利用して啓発します。
主な取り組み状況	・全世帯に配布しているごみ出しカレンダーで、分別する種類毎に主なごみを表記し、適正にごみを排出するよう周知を行った。また12月号広報紙で特集を組み、ごみ出しルールの徹底の周知を行った。 ・「志免町ごみ分別アプリ」を推進するため、広報紙、ごみカレンダー、家庭用ごみ袋等に登録掲載を行った。
課題	・ごみの不分別により集積所にごみが残っていることがある。 ・事業用のごみ袋には産業廃棄物が混入しているものが見られる。
R6年度取り組み方針	・ごみ減量化と資源化のため、「志免町ごみ分別アプリ」の登録を推進し、併せて4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)活動を推進する。 ・事業所には、一般廃棄物と産業廃棄物の区別を徹底してもらい、適切な処理について周知し、ごみ減量を行う。
町が取り組むべきこと②	家庭や事業所から出るごみを収集、運搬する方法や選別、処理する施設などのごみを適切に処理する体制を安定的かつ継続的に確保します。
主な取り組み状況	・町内から出るごみの収集、運搬、処理を可燃ごみは篠栗町のごみ燃料化(RDF)施設クリーンパークわかすぎに搬入し、不燃ごみについては、宇美・志免リサイクルセンターに搬入し、安定的に継続的に行った。 ・令和5年4月以降の燃やせるごみの処理体制の確保に向けて、須恵町外二ヶ町清掃施設組合や関係町と最終的な調整を行った。
課題	なし
R6年度取り組み方針	・令和5年度以降の可燃ごみの処理方針に基づき、引き続き、家庭や事業所から出るごみを収集、運搬する方法や選別、処理する施設などのごみを適切に処理する体制を安定的かつ継続的に確保していく。

町が取り組むべきことの達成状況

- 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
- 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない
- 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

構成する事務事業(評価対象事業のみ)

番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R3 決算	R4 決算	R5 予算			
1	宇美町・志免町衛生施設組合運営事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	196,076	190,474	205,514			
			合計	196,076	190,474	205,514			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.37	0.24	0.21	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持
ごみ処理事業		特定財源	167,455	165,662	168,887				
		一般財源	578,141	600,303	848,572				
		合計	745,596	765,966	1,017,459				
町内から出る可燃ごみを適切に収集、運搬、処理する。		(内 会計年度任用職員人件費)	(2,314)	(2,303)	(2,223)	D	◎	成果・費用とも維持	
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.73	1.15				0.99
3	し尿処理補償事業		特定財源	0	0	-	-		
			一般財源	9,600	9,600	-			
			合計	9,600	9,600	-			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
し尿汲取り許可事業者によるし尿処理事業が安定的に継続されるよう、補償金を支払う。		生活安全課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.02	0.02	依止・廃止済		

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性		
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし
R6年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持

14-3 地球温暖化防止と資源の有効利用を進める	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 地球温暖化対策と資源の有効活用 29位 / 19位	生活安全課

町が取り組むべきこと①	「地球温暖化対策推進法」に基づいた、温室効果ガス排出量削減のため、地球温暖化対策を行います。
主な取り組み状況	・志免町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、脱炭素に関する具体的な取組内容等の説明会及び研修会を行い、職員等に脱炭素に関する意識向上や行動変容を促した。 ・令和4年6月に2050年までに二酸化炭素排出量の実質0を目指す、『ゼロカーボンシティしめ』を宣言した。
課題	・町民や事業所の意識や行動変容を把握できていない。 ・省エネや再生可能エネルギーの導入費用は高額となる。
R6年度取り組み方針	・『志免町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)』に基づき、具体的な取組内容を推し進めて行き、町民・事業所・行政が一体となった地域脱炭素を加速化させ、地域課題と脱炭素を同時に解決する。
町が取り組むべきこと②	「食品ロスの削減の推進に関する法律」に基づいた、ごみ減量のため、食品ロスの削減対策を行います。
主な取り組み状況	・販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ購買行動を促す『てまえどり』のポップによる食品ロス削減啓発を町内のコンビニエンスストアで令和4年9月から始め、それに関する記事を10月号広報紙及びホームページに掲載し、周知啓発を図った。また、10月号の広報紙に特集を組み、食品ロス削減月間、食品ロス削減の日を住民へ周知し、食品ロス削減の取組について啓発を行った。
課題	・事業所から排出される食品廃棄物が減少しない
R6年度取り組み方針	・「てまえどり」のポップによる食品ロス削減啓発を行うために、引き続き志免町商工会と連携し、町内店舗に配置増加を行う。
町が取り組むべきこと③	ごみの減量化と資源化を推進するため、4R活動を推進します。
主な取り組み状況	・10月号の広報紙で特集を組み、3R推進月間に併せ、町で推進している『4R(リフューズ:断る、リデュース:減らす、リユース:繰り返し使う、リサイクル:再資源化する)』運動を推進した。
課題	・各種団体が行う資源回収量が減少している ・生ごみの水切りが徹底されていない
R6年度取り組み方針	・引き続き、4R活動を推進する。

町が取り組むべきことの達成状況

- 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どりの成果をあげている
- 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない
- 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

構成する事務事業(評価対象事業のみ)

番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価					
			経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性			
	事務事業の概要	担当課		会計区分	R3 決算	R4 決算				R5 予算		
1	ごみ減量化推進事業		特定財源	4,550	0	0	D	-	D			
			一般財源	896	767	955						
			合計	5,446	767	955						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	1.09	1.25	0.91	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
2	資源回収推進事業		特定財源	0	0	0				D	-	D
			一般財源	3,978	3,737	5,250						
			合計	3,978	3,737	5,250						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.23	0.15	0.08	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
3	福岡県地球温暖化防止活動参画事業		特定財源	0	0	0				D	-	D
			一般財源	0	0	0						
			合計	0	0	0						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.05	0.02	0.02	成果・費用とも維持	▲	成果・費用とも維持			
4	地球温暖化対策事業		特定財源	-	-	9,090				D	◎	A
			一般財源	-	-	0						
			合計	-	-	9,090						
			(内 会計年度任用職員人件費)	-	-	-						
生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	-	-	0.78	◎	◎	成果拡充・費用拡大			
		2050年カーボンニュートラルに向けた取組、施策を行う。 【令和5年度新規事業】	合計	-	-	9,090						
		(内 会計年度任用職員人件費)	-	-	-							
		生活安全課	一般会計	関与 正職員数(人)	-	-				0.78		

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性		
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	・『志免町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)』に基づき、町民・事業所・行政が一体となった地域脱炭素を加速化させるため、具体的な取組内容を推し進めて行くこととする。
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし
R6年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持

14-4 貴重な自然環境を守る	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 自然環境の保護と自然環境保護活動の促進 35位 / 18位	都市整備課

町が取り組むべきこと①	町内の貴重な緑地を守るため、まとまった緑地を緑地保全林地区に指定します。
主な取り組み状況	・町内の貴重な緑地を守るために前年度同様の箇所を緑地保全林地区に指定し、承諾を得ることができた。
課題	・私有地を借り受け緑地保全林地区として指定している箇所が多く、借り受けられない土地がある。
R6年度取り組み方針	・緑地保全林地区未指定地の承諾を得る取り組みを行う。
町が取り組むべきこと②	良好な環境の保護と町民の自然を大切にす意識を高めるため、町民の自然環境保護活動への参加を促進します。
主な取り組み状況	・コロナウイルス感染症対策として、予定していた河川美化活動が規模縮小での開催であったが、町内事業者や町民の多数の参加があった。
課題	なし
R6年度取り組み方針	・積極的にボランティア団体の支援を行う。
その他の取組	
主な取り組み状況	・社会教育課が行う公民館改修工事の木工事部分に対して、森林環境譲与税を活用した。
課題	・町内で林業を行っている方はいない為、森林環境譲与税を直接活用した事業を行うことができない。
R6年度取り組み方針	・公民館改修工事に森林環境譲与税を活用する。

町が取り組むべきことの達成状況

- 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
- 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない
- 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

構成する事務事業(評価対象事業のみ)

番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R3決算	R4決算	R5予算			
1	片峰山緑地保存事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
	緑地保全林地区対象地の緑地が保全されるよう、緑地保全林地区に指定して、緑地の保全と緑化の推進に要する費用の一部を助成する。		一般財源	752	809	868			
			合計	752	809	868			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.06	0.11	0.01	成果・費用とも維持		成果・費用とも維持	
2	緑地保全会支援事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
	緑地保全会が管理する緑地の保全が行いやすくなるよう、緑地の保全のための費用の一部を補助する。		一般財源	825	825	825			
			合計	825	825	825			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.06	0.11	0.06	成果・費用とも維持		成果・費用とも維持	
3	河川美化活動団体支援事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
	河川美化活動団体(クリーンupうみ川実行委員会)が活発に活動できるよう、宇美川河川周辺の美化活動に対して、補助金交付等の支援を行う。		一般財源	50	7	52			
			合計	50	7	52			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.08	0.13	0.08	成果・費用とも維持		成果・費用とも維持	
4	森林環境譲与税活用事業		特定財源	1,408	0	0	D	-	D
	木材の利用促進を図るため、木製品の導入又は公共建築物の木造化等により、志免町森林環境譲与税活用計画に基づいた地域木材の積極的活用を行う。		一般財源	4	2	7			
			合計	1,412	2	7			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.20	0.20	0.24	成果・費用とも維持		成果・費用とも維持	

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性		
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし
R6年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持

3. 施策の総括と今後の展開

成果指標の『町の環境衛生について、特に気になることがない町民の割合』は目標を達成し、『町民一人1日当たりのごみ(燃やせるごみ)の排出量』は目標をほぼ達成した。しかしながら、『1年間の資源回収量』と『自然環境保護活動を行っている町民の割合』については、目標を達成できなかった。今年度は、地域猫活動団体の支援として、手術券を交付、併せて支援拡充と財源の確保のため、ガバメントクラウドファンディングを実施した。さらに、『猫よけセンサー』の貸出を行い被害軽減を図った。脱炭素に関しては、具体的な取組内容等の説明会及び研修会を行い、職員等に意識向上や行動変容を促し、併せて『ゼロカーボンシティしめ』を宣言した。

今後は、令和5年度に策定予定の『志免町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)』に基づき、具体的な取組内容を推し進めて行き、町民・事業所・行政が一体となった地域脱炭素を加速化させ、地域課題と脱炭素を同時に解決したいと考える。また、ごみ出しルールの徹底、4R活動、「志免町ごみ分別アプリ」の登録を推進し、快適な生活環境の維持を図る。さらに、緑地保全事業や河川美化活動の支援事業に取り組み、自然環境の維持及び保全を図り、緑地保全林地区の未指定の土地を指定することにより成果が向上するため、引き続き土地所有者と指定に向けて協議を行う。

4. 施策の進行状況

- 目標に向かって順調に進んでいる
- 目標に向かってある程度順調に進んでいる
- 目標に向かってあまり進んでいない
- 目標に向かって進んでいない

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1014101
事務事業名	北筑昇華苑葬祭場使用料助成事業			担当課	健康課	担当係 健康管理係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	01	一般会計
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		04	01
根拠法令条例等				北筑昇華苑組合規約及び葬祭場使用料の一部負担に関する規程		
実施期間				<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 56年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	⑦町民	人	46,518	46,631	46,532
事業内容	③手段(どのようにして)	3市7町(福岡市、福津市、古賀市、糟屋郡7町)の組合で創設した葬祭場(北筑昇華苑)の使用料金の一部を負担する(大人[10歳以上]40,000円、小人[10歳未満]20,000円、死産児6,000円のうち、その半額を町が負担)				
	※04年度に行った主な活動	・葬祭場の使用にかかる経済的な負担が軽減される ・報告使用料町負担分の支払い(月ごとに納入)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	町負担分支払い回数	回	目標	12	12	100.0%
				実績	12	12	
イ	成果	助成件数	件	目標	385	400	117.9%
				実績	394	454	
ウ	成果	助成率(助成件数/葬祭場使用件数)	%	目標	100.0	100.0	100.0%
				実績	102.3	100.0	
エ							
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			7,843	7,700	9,073	8,200		
合計(A)			7,843	7,700	9,073	8,200		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		151	157	303	230		
	トータルコスト(A)+(B)		7,994	7,857	9,376	8,430		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.02	0.02	0.04	0.03		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和45年頃、住民の葬祭場として3市7町(福岡市、福津市、古賀市、糟屋郡)で北筑衛生施設組合を設立し古賀葬祭場を建設。住民の葬祭場使用の負担を軽減するために使用料の一部の補助を昭和56年頃開始。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	-----------------------	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	火葬場使用料の一部を町が負担し、誰にでも公平に訪れる死・葬祭にかかる費用の負担を軽減することは、快適な生活環境の維持に繋がる。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	火葬にかかる費用を町が一部負担することで、美しいまちを維持することができるため妥当である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	葬儀場使用料を町が一部負担することは妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	必要とする人が、すべて火葬を行えているため成果向上の余地はない。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	対象は町民全員とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	使用料の一部を町が負担することは、適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	自己負担額は、北筑昇華苑が使用者から徴収することになったので、業務の効率化は図られた。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	火葬する体数に応じて、助成額が増加する。削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国・県からの補助はない。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	葬祭場の使用にあたり、住民の経済的負担を軽減するため、本事業に継続して取り組む。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
D		成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214101	
事務事業名	桜丘下水処理施設跡地管理事業			担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画 体系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	04	衛生費
					項	02	清掃費
					目	04	下水処理費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 49年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 桜丘下水処理施設跡地 ⑧ ⑨	m2	6,173	6,173	6,173
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	適正に管理される				
		苦情や事故などが起こらないように維持管理を行う ・雑草除去、樹木剪定等委託契約事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	雑草除去、樹木剪定件数	件	目標	3	3	100.0%
				実績	3	3	
イ	成果	雑草、樹木の苦情件数	件	目標	0	0	
				実績	0	0	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			1,350	1,526	1,493	1,550		
合計(A)			1,350	1,526	1,493	1,550		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,429	842	845	853		
	トータルコスト(A)+(B)		2,779	2,368	2,338	2,403		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.19	0.11	0.11	0.11		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 桜丘団地が開発され、昭和49年から開始。平成23年3月から公共下水道に接続したため処理場を停止した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 平成23年度に桜丘終末処理場の解体工事終了し、広場として活用しているが、近隣の境界の樹木等の管理が必要である。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	--	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度低い	事業内容が施設跡地の維持管理であり、上位施策への貢献度は低い。	1	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			地元住民より、別の用地で使用したい意向があるが、跡地利用として地元との調整が図られれば、普通財産に移管し売却を検討すべきである。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			町が所有する跡地であり、公共性が高い事業であるため、自治体関与は妥当である。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	適正に管理しており、近隣等より苦情もないため期待する成果が得られている。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			施設跡地を適正に管理することが目的であるため、対象は適切である。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			苦情や事故などが起こらないように、雑草除去、樹木剪定等を行っており適切である。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	専門業者に委託して行っており効率的である。	2	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			管理を行うのに、必要最低限の予算であり、適切である。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			活用できる国や県等の補助金はない。

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	地元桜丘運営委員会の要望により跡地を子ども広場とし、使用管理運用をお願いしており、町としては、雑草の除草処理を行ったが跡地について地元と協議が整えば、普通財産に移管し売却を検討すべきである。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	b	課題が少しあり業務の一部見直しが必要				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214103	
事務事業名	動物愛護事業			担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	04	衛生費
					項	01	保健衛生費
根拠法令条例等	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 25 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 飼い犬(犬の登録頭数) ㊧ 地域猫 ㊨	頭	2,055	2,144	2,200
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・生活環境への被害が起こらない ・生活環境への被害が起こらない				
		狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止及び撲滅する取組等を行う ・犬の新規登録、注射済みの登録、鑑札と注射済票の発行、犬の転入出及び死亡届の受付、抑留された犬の公示 ・狂犬病集団予防注射の受付事務 ・獣医師会との委託契約事務 ・地域猫活動支援事業による登録団体に対する地域猫の不妊去勢手術券の交付 ・犬猫の糞尿による生活被害に伴う啓発				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	狂犬病集団予防注射頭数	頭	目標	400	400	400
				実績	223	204	51.0%
イ	活動	犬の新規登録数(転入含む)	頭	目標	220	235	235
				実績	235	232	98.7%
ウ	活動	犬の登録抹消数(転出、死亡、その他)	頭	目標	200	260	200
				実績	259	143	55.0%
エ	成果	狂犬病予防注射済頭数(個別、集団)	頭	目標	1,400	1,400	1,400
				実績	1,306	1,364	97.4%
オ	成果	狂犬病予防注射実施率(注射済頭数/登録頭数)	%	目標	70.0	70.0	70.0
				実績	63.6	63.6	90.9%
カ	成果	地域猫の不妊去勢実施率(手術頭数/地域猫の頭数)	%	目標	95.0	75.0	75.0
				実績	56.0	60.0	80.0%

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		277	630	480	630	
受益者負担			1,280	1,093	954	532		
その他特定財源			0	0	0	870		
一般財源			126	0	0	0		
合計(A)			1,683	1,723	1,434	2,032	1,723	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		3,772	3,982	3,671	5,968		
	トータルコスト(A)+(B)		5,455	5,705	5,105	8,000		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.50	0.52	0.48	0.77		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 狂犬病予防法に基づく事務である。平成31年4月より志免町地域猫活動支援事業実施要綱を整備したもの。	②事務事業を取り巻く環境の変化 犬の登録頭数は年々減少していて、狂犬病予防注射を受ける割合は、横ばい状態である。野良猫の無責任なえさやりによる生活環境被害が生じている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	---	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	総合計画において、生活環境被害を軽減させるため、野良猫への無責任なえさやりに対し、適切な指導及び不妊去勢手術を推進するとしており、快適な生活環境の維持につながり貢献度が高い。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			犬猫の糞尿による生活被害についての啓発や、野良猫への適切な指導及び不妊去勢手術を実施することは、町民の快適な生活環境の維持と清潔で美しいまちにつながり、生活環境被害の軽減を図るうえで、大変重要である。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			狂犬病予防法に基づき予防注射は義務化、また志免町地域猫活動支援事業実施要綱に基づき、生活環境被害を軽減させるため、野良猫への無責任なえさやりに対し、適切な指導及び不妊去勢手術券の交付を行っており、町で行う事業となっている。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	狂犬病予防法において、予防注射が義務となっているが、未接種の犬があり、再通知を送付するなど、成果の向上の余地がある。また野良猫への無責任なえさやりに対し、適切な指導及び不妊去勢手術を推進するとしているが、繁殖率が高く、追いついていないのが現状で成果の向上の余地がある。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			狂犬病予防法、免町地域猫活動支援事業実施要綱に規定する対象であり、適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			狂犬病予防法、免町地域猫活動支援事業実施要綱に規定する手段であり、適切である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	限られた人員で業務を行っており、内容についても熟知しており、業務の手順、内容については効率的である。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			狂犬病予防注射、地域猫活動支援事業を行う上で、必要なコストであり、削減の余地はない。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			狂犬病予防登録等に関する手数料徴収条例に基づき、手数料を徴収している、また福岡県地域猫活動支援事業の補助金を活用しており財源の確保は適切である。		
分析・検証結果			妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
			0点	1点	2点	3点	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
合計6点		c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である					
4月に3日間、町内の公民館を通じ狂犬病予防注射を実施した。野良猫への無責任な餌やりに関しては、直接指導や助言(室内飼、地域猫への移行等)をはじめ、広報誌、環境監視作業員による巡回広報等により啓発を行った。また併せて『猫除けセンサー』の貸出を行い被害軽減を図った。地域猫活動団体に対しては手術券を交付し、活動団体により、不妊去勢手術を実施し、生活環境被害のための取組を行った。地域猫活動支援拡充と財源の確保のため、ガバメントクラウドファンディングの実施及び地域猫活動支援事業実施要綱の改正を行い、活動者の負担軽減を図り、活動を行いやすい環境づくりを行った。							

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)				
		皆減	縮小	維持	拡大					
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A				
		維持		E	D					
		縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
		休廃止	G							
D		成果・費用とも維持								

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1214104	
事務事業名		環境調査事業		担当課	生活安全課	担当係	生活環境係	
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	04	衛生費	
根拠法令条例等				個別計画		項	01	保健衛生費
						目	08	公害対策費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 7 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 対象河川調査箇所(宇美川、坂瀬川、井野川) ⑧ 不燃物埋立跡地周辺調査地点(水位測定、地下水、水質、発生ガス) ⑨ 汚染状況等がないか確認される	箇所	9	9	9
事業内容	③手段(どのようにして)	不燃物埋立跡地周辺の環境保全を図るため、廃棄物由来汚水の浸透、浸出水による公共用水域への影響を把握する	地点	24	24	24
	※04年度に行った主な活動	・不燃物埋立跡地周辺の調査(年4回、水位測定12地点、地下水水質調査6地点、河川水水質調査2地点、発生ガス調査4地点) ・河川水質調査(年4回、宇美川6箇所、坂瀬川2箇所、井野川1箇所)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率	
ア	活動	調査回数(河川調査、不燃物埋立跡地周辺調査)	↑	回	目標	4	4	100.0%
					実績	4	4	
イ	成果	汚染地点数(河川調査、不燃物埋立跡地周辺調査)	↓	箇所	目標	0	0	
					実績	0	0	
ウ					目標			
					実績			
エ					目標			
					実績			
オ					目標			
					実績			
カ					目標			
					実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			934	1,324	1,065	1,324		
合計(A)			934	1,324	1,065	1,324		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		825	766	762	776		
	トータルコスト(A)+(B)		1,759	2,090	1,828	2,100		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.11	0.10	0.10	0.10		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ ・平成7年9月に焼却灰等の埋め立てが終了、その後、遮水工事を実施した。汚染水の浸出状況を把握するために始められた。 ・平成16年5月、井尻粕屋線が新屋敷から粕屋町の扇橋までの間が開通したことにより、交通量の増大で大気汚染調査を実施したものである。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	-----------------------	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	不燃物埋立跡地周辺の環境保全を図るため、廃棄物由来汚水の浸透、浸出水による公共用水域への影響を図る目的に水質検査を実施し、汚点箇所がないことは、上位施策目指す姿の快適な生活環境の維持につながり、貢献度は高い。 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、不燃物埋立跡地周辺の環境保全を図るため、汚染状況等がないか確認することが必要である。 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づくものであるため、自治体で行うものとなっている。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	汚染状態は確認されておらず、期待する成果が得られている。 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、対象河川調査箇所と不燃物埋立跡地周辺調査地点を対象とすることは、汚染状況等がないか確認を行う必要があり適切である。 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、汚染状況等がないか確認を行うために、不燃物埋立跡地周辺の水質調査等は最も有効な手段である。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	専門業者に水質調査等を委託しており、業務手順、内容については、効率的である。 不燃物埋立跡地周辺の調査と河川水質調に必要な最低限なコストとなっており、適切である。 活用できる国や県等の補助金はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1214108	
事務事業名		町内清掃事業		担当課	生活安全課	担当係	生活環境係	
総合計画 体系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	04	衛生費	
					項	02	清掃費	
根拠法令条例等				個別計画	目	01	清掃総務費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦町民	人	46,518	46,631	46,532
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・自分たちの手で町をきれいにする意識が向上する ・町民自らの手によってきれいな街にする意識向上を図るため、町内一斉清掃を行う(春と秋の年2回) ・ゴミ集積場の提供、回収業者の手配				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	町内一斉清掃実施数	回	目標	2	2	100.0%
				実績	0	2	
イ	成果	町内一斉清掃で回収したごみの搬入台数	台	目標	571	330	57.4%
				実績	未実施	328	
ウ	成果	環境美化活動(地域清掃など)に参加した人の割合【町民意識調査】	%	目標	31.6	31.6	105.4%
				実績	未実施	33.3	
エ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			1,052	3,929	2,915	4,015		
合計(A)			1,052	3,929	2,915	4,015	3,929	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		3,919	3,746	3,746	3,956		
	トータルコスト(A)+(B)		4,971	7,675	6,661	7,971		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.52	0.49	0.49	0.51		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 自分たちが住む町は自分たちできれいにするように意識向上が目的で開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 地域によっては、高齢化が進み作業が負担になってきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 高齢化が進んでいる町内会では、不燃物選別場跡地への収集運搬が難しくなっているとの声がある。
---	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	自分たちの手で町をきれいにする意識が向上することは、環境美化や環境問題への高い意識をもっていることになり、快適な生活環境の維持と清潔で美しいまちにつながり、総合計画の目指す姿に直結する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画において、自分たちのまちは自分たちできれいにするという、環境美化に対する意識を向上させるとしており、意図は適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	第6次総合計画において、町が取り組む内容として、町内一斉清掃により、自分たちのまちは自分たちできれいにするという、環境美化に対する意識を向上させることとしている。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	コロナ過で実施できなかった、春・秋の一斉清掃を3年ぶりに開催し、期待する成果が得られた。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町内一斉清掃は町民全体を対象にしていおり、町民を対象にすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	日にちを設定し、町民みんなで一斉に清掃を行うことが、環境美化意識向上に寄与するため。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	限られた人員で行っており、業務手順、内容については、効率的である。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町内一斉清掃を実施後に草、泥、木などの処理を行うため必要なコストであり、削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる国や県等の補助金はない	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214109	
事務事業名	生活環境監視事業			担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	04	衛生費
					項	02	清掃費
					目	01	清掃総務費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 13 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 町民 ㊧ ㊨	人	46,518	46,631	46,532
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・ごみの捨て方や分別、ペットの飼い方などのルール、マナーを守る ・不法投棄やごみ分別、ペットの飼い方などの監視、指導及び啓発を行う ・環境監視員の配置(2名) 福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所、粕屋警察署、糟屋地区1市7町で構成される「糟屋地区廃棄物不法処理防止連絡協議会」に参画する ・会議への参加				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	環境監視員配置数	人	目標	2	2	2
				実績	2	2	2
イ	活動	環境監視実施日数	日	目標	200	200	243
				実績	200	243	243
ウ	成果	不法投棄の回収件数	件	目標	300	200	150
				実績	44	102	102
エ	成果	不法投棄の通報対応率(回収件数/通報件数)	%	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	100.0	100.0	100.0
オ	活動	協議会出席回数	回	目標	1	1	1
				実績	0	1	1
カ	成果	協議会による不法投棄パトロール実施回数	回	目標	-	30	30
				実績	40	30	30

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			2,638	3,493	3,250	3,576		
合計(A)			2,638	3,493	3,250	3,576	3,493	
(内 会計年度任用職員人件費)			2,552	3,377	3,163	3,489		
正職員人件費[按分](B)			1,438	1,835	1,840	1,859		
トータルコスト(A)+(B)			4,076	5,328	5,090	5,435		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.19	0.24	0.24	0.24		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ ・職員の減で事務量に対する職員の負担が増し、事務処理に影響をきたし始めたため、平成13年度から本事業を個人委託し開始した。 ・粕屋地区廃棄物連絡協議会による不法投棄パトロールを行っている。	②事務事業を取り巻く環境の変化 ・ここ数年、野良猫に対する、無責任なえさやりについての苦情が多数寄せられるようになった。また不法投棄、野焼きなど生活環境被害が後を絶たない。 ・廃掃法により事業者などに廃棄物の不法処理・管理を指導している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 ・野良猫に対する、無責任なえさやりについての苦情が多数町民から寄せられている。
---	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	ごみの捨て方や分別、ペットの飼い方などのルール、マナーを守ってもらうために、不法投棄の回収や、パトロールを行うことは清潔で美しいまちにつながり、上位施策の貢献度は高い。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで環境監視員を活用した啓発を行うこととしており、その趣旨に沿っている。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき町には、啓発など必要な措置を行う必要がある。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	環境監視作業員が、不法投棄のパトロールをしており、苦情等について、素早く対応が出来ている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	ごみの分別やペットのマナーなど町民全体に係ることになり、町民を対象にすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	環境監視作業員を配置することは、ごみの捨て方や分別、ペットの飼い方などのルール、マナーを守ることになり、有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	環境監視作業員を配置することで効率的に監視、指導、啓発を行える。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	環境監視作業員を配置する最低限の必要なコストであり、削減する余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる国、県等の補助金はない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	環境監視作業員を効果的に活用することで、不法投棄、野焼き、ペットのふん害など生活環境に関する問題に迅速に対応ができ、啓発や指導を行った。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214110		
事務事業名	焼却場跡地周辺環境整備事業			担当課	生活安全課	担当係	生活環境係	
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	04	衛生費	
					項	02	清掃費	
根拠法令条例等				目	01	清掃総務費		
個別計画								
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返		年度より開始	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年)H ²⁵ 年度~R ⁹ 年度				

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 焼却場跡地周辺町内会	団体	7	7	7
		環境整備が行われる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	志免町焼却場跡地整備委員会で承認された周辺地域の環境整備を推進するための取組を行う ・設置された4公民館の太陽光発電システムの余剰電力料の受入と支払い事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	売電契約件数	件	目標	4	4	100.0%
				実績	4	4	
イ	活動	売電量	kwh	目標	45,000	45,000	97.4%
				実績	44,476	43,828	
ウ	成果	町内会還元金額	千円	目標	1,500	1,500	99.9%
				実績	1,519	1,498	
エ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			1,518	1,548	1,494	1,548		
一般財源			0	0	0	0		
合計(A)			1,518	1,548	1,494	1,548		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		531	152	149	153		
	トータルコスト(A)+(B)		2,049	1,700	1,643	1,701		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.07	0.02	0.02	0.02		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成8年4月13日に締結された協定書に基づき、志免町焼却場跡地整備委員会を設置。	②事務事業を取り巻く環境の変化 委員会より焼却場跡地の周辺整備として、防犯灯LED取替や太陽光発電の設置及び余剰電力の有効利用について要望があった。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 焼却場跡地の周辺整備を行った町内会から好意的意見を頂いた。
--	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	焼却場跡地周辺地域を整備したことにより、住みよい住環境の保全ができており上位施策の貢献度は高い。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	却場跡地周辺地域を整備されることは、焼却場跡地周辺町内会の住みよい住環境の保全ができており、町の目指す快適な生活環境の維持につながり、妥当である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	焼却場跡地周辺整備であり、町が主体で取り組む内容である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	志免町焼却場跡地整備委員会で、整備方針に沿った環境整備が行われている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	この事業は周辺環境を整備する事業であるため、焼却場跡地周辺町内会を対象とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町焼却場跡地整備委員会で決定した環境整備の手段であるため、適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限の職員で対応しており、これ以上見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	公民館の太陽光発電システムの余剰電力料の受入が特別財源となっており、額をそのまま対象公民館へ還元金という。また、その他のコストについても事務執行する人件費のみであり、これ以上削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	余剰電力料を特別財源として受け入れている。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214111	
事務事業名	吉原地域活性化委員会運営事業			担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	04	衛生費
					項	02	清掃費
根拠法令条例等	吉原地域活性化委員会設置条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 21 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度				

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 吉原活性化委員会委員 ⑧ ⑨	人	12	12	12
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	吉原環境を守る会、吉原町内会、水鉛町内会と締結した浄化センター建設に関する協定書に基づき、吉原地域活性化委員会を設置して、吉原地区およびその周辺のまちづくりの推進を行う ・吉原地域活性化運営委員会で提出された提言に基づく、用地交渉、全体測量、不動産鑑定、用地購入				
	・吉原地区の地域活性化に対する意見、要望が出される					

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	委員会開催数	回	目標	1	1	1
				実績	0	1	100.0%
イ	成果	活性化のための意見、要望数(累計)	件	目標	1	1	1
				実績	0	1	100.0%
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	34,200	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			81,044	5,608	5,463	112,659		
一般財源			0	0	0	845		
合計(A)			81,044	5,608	5,463	147,704		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		4,752	6,044	6,041	6,744		
	トータルコスト(A)+(B)		85,796	11,652	11,504	154,448		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.63	0.79	0.79	0.87		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 吉原環境を守る会・吉原町内会・水鉛町内会と締結された浄化センター建設に関する協定書に基づき、平成21年5月27日より、吉原地域活性化委員会を設置するため協議を開始。	②事務事業を取り巻く環境の変化 吉原地域活性化委員会より提言書が提出され、方向性が確立されている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 吉原地域活性化委員会からは、事業が前に進んだと意見をいただいた。
--	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	吉原地域活性化委員会設置条例に基づき、吉原地域の活性化のために要望や意見が出されており、その内容が、良好な住環境整備のために寄与されるため、上位施策の目的と合致している。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	吉原地域活性化委員会より提出された提言書を元に事業を進めていくことは、吉原地域の活性化につながるもので妥当である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	吉原地域活性化委員会設置条例に基づき、委員会の庶務を町が行うこととなっている。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	吉原地域活性化委員会の提言書に基づき、用地交渉、全体測量、不動産鑑定、用地購入を行い期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	吉原地域活性化委員会設置条例に基づき、規定する対象である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	吉原地域活性化委員会設置条例に基づき、それに沿った手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	業務手順、内容に見直しの余地はなく、効率的である。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	吉原地域活性化整備を行ううえで、必要なコストとなり削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	吉原地域活性化整備基金を活用しており、財源は適切である。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	吉原地域活性化委員会より提言を受け、多目的広場の工事竣工後に本委員会は解散の予定となる。
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
G	終了廃止				コストの方向性(一般財源・関与職員数) 多目的広場の維持管理を行ううえで、人的投与や維持管理費用(光熱水費等)が必要となる。	

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214112	
事務事業名	空き地等草刈事業			担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画体系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計		
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		項目		
根拠法令条例等		志免町空き地の環境保全に関する条例		個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H 10 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		⑦ 空き地等の雑草、木の繁茂による苦情があった土地	件	36	35	35
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	適正に管理される				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	地域からの苦情が出た場合、条例に基づいて土地所有者または管理者に適正に管理するよう依頼を行う ・苦情連絡受付、現場確認、土地所有者確認、土地所有者へ適正管理依頼 ・土地所有者から草刈業者等斡旋の依頼がある場合は、業者を斡旋				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	草刈等依頼件数	件	目標	40	40	112.5%
				実績	36	35	
イ	成果	草刈等管理済件数	件	目標	36	35	94.3%
				実績	31	33	
ウ	成果	管理対応率(管理済件数/依頼件数)	%	目標	90	90	104.6%
				実績	86.1	94.1	
エ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	0	0	0		
合計(A)			0	0	0	0		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		2,711	1,911	1,914	1,552		
	トータルコスト(A)+(B)		2,711	1,911	1,914	1,552		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.36	0.25	0.25	0.20		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和47年12月25日、志免町空き地の環境保全に関する条例を定め、実施している。	②事務事業を取り巻く環境の変化 少しずつではあるが、空き地等に戸建住宅が建設されている一方で、空き家が増加している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 近隣の住民、町内会長から空き家、空き地以外に、居住されている住宅の庭木についての苦情が増えている。
--	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	雑草の繁茂等により地域から苦情があった土地について、適正に管理されることは、周辺住民の快適な生活環境維持につながり、町の目指す姿につながる	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町空き地の環境保全に関する条例により、空き地が適正に管理されることで、快適な生活環境の維持につながり、条例の目的に沿っている。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	空き地の環境保全に関する条例に基づき、空き地を適正に管理されるように指導及び助言を行う必要があるため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	空き地の環境保全に関する条例に基づき、指導、助言及び勧告を実施しており、期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	空き地の環境保全に関する条例に基づき、規定する対象のため適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	空き地の環境保全に関する条例に基づき、空き地を適正に管理されるように、指導や助言を行うこととなっている。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	限られた人員で業務を行っており、業務手順については、効果効率的に実施している。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	所有者への指導、助言を行う人件費のみであり、必要なコストであり削減余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる国や県等の補助金はない。	

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	空き地の環境保全に関する条例に基づき指導、助言及び勧告を実施しているが、文書を送り続けることで対応をしていただくこともある。継続して対応が必要と思うが、費用面から実施できていない土地管理者があり、周辺住民の快適な生活環境の維持につながらないこともある。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214201	
事務事業名	宇美町・志免町衛生施設組合運営事業			担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-2	ごみを適切に収集して処理する		款	04	衛生費
根拠法令条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、宇美町・志免町衛生施設組合規約			個別計画	項	02	清掃費
					目	01	清掃総務費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 13 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦ し尿、浄化槽汚泥(搬入量)	t	2,138	1,817	2,000
		㊧ 燃やせないごみ(搬入量)	t	943	870	900
		㊨ 粗大ごみ(搬入量)	t	194	175	200
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(し尿、浄化槽汚泥)適正に処理される ・(燃やせないごみ、粗大ごみ)適正にリサイクルされる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	町内で発生したし尿、浄化槽汚泥を適正に処理する施設「宇美・志免浄化センター」と回収した粗大ごみ、燃やせないごみ(5種類:陶器・ガラス・その他、金属類、空き缶・空きびん、ペットボトル、プラスチック製容器包装類)を選別し、リサイクルする施設「宇美・志免リサイクルセンター」を宇美町と運営を行う ・業務委託契約、搬入協議				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	宇美・志免浄化センター受入可能日数	日	目標	243	243	100.0%
				実績	243	243	
イ	活動	宇美・志免リサイクルセンター受入可能日数	日	目標	309	309	99.7%
				実績	309	308	
ウ	活動	搬入協議回数	回	目標	4	4	100.0%
				実績	4	4	
エ	成果	し尿、浄化槽汚泥処理量	t	目標	2,000	2,000	90.9%
				実績	2,138	1,817	
オ	成果	リサイクルされたごみの量	t	目標	900	900	95.1%
				実績	940	856	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			196,076	210,291	190,474	205,514		
合計(A)			196,076	210,291	190,474	205,514		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		2,793	1,835	1,840	1,628		
	トータルコスト(A)+(B)		198,869	212,126	192,314	207,142		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.37	0.24	0.24	0.21		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 廃棄物処理法により市町村の事務とすることになった。	②事務事業を取り巻く環境の変化 公共下水道の普及により処理量が減少してきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	---	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	し尿が適正に処理され、燃やせないごみ等が適正にリサイクルされることは、町の公衆衛生、ごみ減量につながるため、上位施策の目指す姿に直結している。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	し尿が適正に処理され、燃やせないごみ等が適正にリサイクルされることは、総合計画で掲げているごみの減量化やリサイクル化を掲げており、取組方針に沿っている。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、自治体の責務となっており町の関与は妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	し尿、浄化槽汚泥が適切に処理され、また燃やせないごみ・粗大ごみは適正にリサイクルされており、期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、し尿、浄化槽汚泥、燃やせないごみ、粗大ごみを対象とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	宇美町・志免町衛生施設組合規約に基づき、し尿、浄化槽汚泥、燃やせないごみ、粗大ごみを適切に共同処理することとなっている。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	し尿、浄化槽汚泥、燃やせないごみ、粗大ごみを適切に処理することに関し、宇美町と共同経営することで、効率的に効果的に運営ができています。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	宇美町・志免町衛生施設組合規約で定められた、必要なコストであり削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる国、県等の補助金はない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1214203
事務事業名		ごみ処理事業		担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-2	ごみを適切に収集して処理する		款	04	衛生費
					項	02	清掃費
					目	02	ごみ処理費
根拠法令条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 29 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度	

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦ 町内から出る可燃ごみ(搬入量)	t	10,692	10,676	10,676
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	適切に収集、運搬、処理される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	町内から出るごみの収集、運搬、処理を行う ・可燃ごみは篠栗町のごみ燃料化(RDF)施設クリーンパークわかすぎに搬入し、処理 ・不燃ごみは宇美・志免リサイクルセンターに搬入 ・ごみ指定袋(燃やせるごみ、燃やせないごみ)の製作に係る契約事務、ごみ袋の販売 ・糟屋地区1市7町で開催される環境課長会と環境衛生主任者会への参画				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	燃やせるごみ収集日数	日	目標	308	305	306
				実績	308	305	
イ	活動	燃やせないごみ収集日数	日	目標	282	283	282
				実績	282	283	
ウ	成果	ごみ収集率(収集されたごみ量/適正に家庭等から出されたごみ量)	%	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	100.0	100.0	
エ	成果	1tのごみ処理に係るコスト(年間経費/可燃ごみ量)※参考値	千円	目標	70	70	70
				実績	67	71	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			167,067	165,718	165,169	168,403		
その他特定財源			388	495	494	484		
一般財源			578,141	629,186	600,303	848,572		
合計(A)			745,596	795,399	765,966	1,017,459	795,399	
(内 会計年度任用職員人件費)			2,314	2,340	2,303	2,223		
	正職員人件費[按分](B)		5,504	8,796	8,801	7,673		
	トータルコスト(A)+(B)		751,100	804,195	774,766	1,025,132		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.73	1.15	1.15	0.99		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ ・昭和29年から清掃法により、ごみ収集は市町村の固有事務となった。 ・環境課長会等の開始した時期は不明だが、多様化している環境問題に対応するため設置されたものである。	②事務事業を取り巻く環境の変化 マンションや集合住宅の建設に伴う人口増加で、全体的なごみ量の増加に併せて処理費や収集委託料が増加している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	--	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	適切にごみを収集、運搬、処理されること、近隣市町と環境問題を共有し、その問題解決に取り組むことは、ごみの減量化や清潔で美しいまちにつながり、上位施策の目指す姿の実現に直結する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画において、適切に収集、運搬、処理するとしている。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、ごみを適切に処理することは、町の責務である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	ごみの収集を安定的、継続的に実施しており期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、町内から出る可燃ごみ(搬入量)とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、ごみの収集、運搬、処理を行うこととなっている。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町内から出るごみの収集、運搬を行うことを許可制で実施しており、安定的に効率的に行っている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町内から出るごみの収集、運搬、処理を行うことは安定的に継続的に実施する必要があり、投入コストは適切である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	ごみを適切に収集、運搬、処理を行うにあたり、受益者負担として、ごみ袋の販売収入を財源としており適切である。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214204	
事務事業名		し尿処理補償事業		担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-2	ごみを適切に収集して処理する		款	04	衛生費
根拠法令条例等				個別計画	項	02	清掃費
実施期間					目	01	清掃総務費
		<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 年度より開始		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年)H ²⁵ 年度~R ⁴ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	⑦し尿汲取り許可事業者	社	2	2	2
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・し尿処理事業が安定的に行われる				
		し尿処理を安定的に継続するための補償を行う ・補償金の支払い事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	補償金支払業者数	社	目標	2	2	0
				実績	2	0	
イ	活動	補償金額	千円	目標	9,600	9,600	0
				実績	9,600	9,600	0
ウ	成果	し尿汲取り基数	基	目標	480	480	480
				実績	468	462	
エ	成果	し尿汲取り量	t	目標	950	950	950
				実績	899	881	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			9,600	9,600	9,600	0		
合計(A)			9,600	9,600	9,600	0		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		147	152	149	0		
	トータルコスト(A)+(B)		9,747	9,752	9,749	0		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.02	0.02	0.02	0.00		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成6年3月に締結された補償の基本契約書を基つき、粕屋郡内8ヶ町の各町長と粕屋環境整備事業協同組合理事長において、具体的な合意を得た覚書を締結した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 公共下水道の普及により処理量が減少してきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	---	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	し尿汲み取りが適正に行われることは、快適な生活環境の維持と清潔で美しいまちにつながり、上位施策の目指す姿となる。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	し尿処理事業が安定的に行われることは、町民の快適な生活環境の維持につながり適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、し尿処理は自治体の責務である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	安定的に継続的にし尿・汚泥が行われており、期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	し尿処理事業が安定的に行われるため、し尿汲取り許可事業者を対象とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	し尿処理事業が安定して行われるためには、補償金支払いが最も有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最低限の人数で行っており、支払い事務の作業手順は効率的である。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	覚書に基づいた内容であり、適正で、削減の余地はない	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる国や県等の補助金はない。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	平成25年度に覚書で補填金額を10年分割で支払うことを定めている。この覚書に基づき補填金の支払いを行った。令和4年度で終了となる。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
—		廃止済					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報	<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業				事務事業コード	1214301	
事務事業名	ごみ減量化推進事業			担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-3	地球温暖化防止と資源の有効利用を進める		款	04	衛生費
					項	02	清掃費
根拠法令条例等	資源の有効な利用の促進に関する法律			個別計画	01		清掃総務費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H 25 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・ごみの減量やリサイクルの意識が向上する	人	46,518	46,631	46,532
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	ごみの分別や減量、リサイクルの意識向上を図る取組を行う ・広報やホームページでの啓発 ・ごみアプリの運用 ・4R活動の啓発、4R活動を行うリサイクル団体支援 ・生ごみ処理容器、ダンボールコンポスト等の販売窓口事務、補助金申請交付事務 ・子どもたちの環境作品展の開催				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	啓発回数(広報等)	回	目標	12	12	100.0%
				実績	12	12	
イ	活動	補助金交付数(生ごみ処理容器、ダンボールコンポスト、生ごみ処理器くたくん)	件	目標	10	30	40.0%
				実績	28	12	
ウ	成果	ごみアプリ登録者数	人	目標	6,000	9,000	106.6%
				実績	5,953	9,594	
エ	成果	町民1人当たりの1日の可燃ごみ排出量	g	目標	612	626	99.7%
				実績	628	628	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		700	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			3,850	0	0	0		
一般財源			896	935	767	955		
合計(A)			5,446	935	767	955	935	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		8,223	9,259	9,563	7,051		
	トータルコスト(A)+(B)		13,669	10,194	10,330	8,006		
	関与職員数(単位:人)	正職員	1.09	1.21	1.25	0.91		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
・平成4年から、廃食用油を排水しないことで川の浄化につながることから廃油石鹼製造の支援し始めた。 ・平成8年から町内会の要望もあり、生ごみ処理容器の補助金交付を始めた。	・生ごみ処理機が普及し、平成10年から生ごみ処理機の補助金交付を始めた。近年、集合住宅に住んでいる人でも手軽に生ごみを堆肥化できるダンボールコンポストを普及させるため、平成19年から補助金交付を始めた。生ごみ処理機は、平成15年から減少傾向であり、平成21年度から補助金を廃止した。 ・マンションや集合住宅の建設に伴う人口増加で、全体的なごみ量の増加に併せて処理費や収集委託料が増加している。	・住民から「生ごみ処理機等の補助制度があり、助かる」という意見がある。 ・子どもたちの環境作品展を実施でアンケートを行った結果、来場者から好評をいただいた。

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	ごみの減量化やリサイクル化などの環境負荷の少ない持続可能な循環型社会を構築する、上位施策の目指す姿の実現に直結する。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			総合計画に掲げられるごみの減量化やリサイクル化などが進む環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の構築には、その意識の向上が必要である。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			資源の有効な利用の促進に関する法律において、再生資源の利用を促進するように努めることが規定されており自治体が行うべき内容である。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	一人あたりのごみの量が昨年度より減少、更なるごみの減量や適正な分別のため、広報誌、ホームページ、ごみ分別アプリで周知啓発に努める。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			ごみの減量やリサイクルの意識を向上させることについて、全町民を対象にしているため適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			ごみの分別や減量、リサイクルの意識向上を図る取組を行うことは有効な手段である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	限られた人員で対応しており、ごみの減量やリサイクルの意識を向上させるうえで、効率的に効果的に実施しており、業務手順については適切である。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			ごみの分別や減量、リサイクルの意識向上を図る取組を行ううえで、必要なコストであり、削減余地はない。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			活用できる国、県等の補助金はない。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
		0点	1点	2点	3点	広報誌、ホームページ、ごみ分別アプリにてごみの減量及び資源化について周知啓発を行った。また子どもたちの環境作品展を町民センターホールで行い、大変盛況となった。令和5年度より地球温暖化対策に関する業務は、新規事業として別に計上する。	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c		c
		いずれか1点	c	c	c		c
		合計4点	c	c	b		b
		合計5点	c	b	b		a
	合計6点	c	b	a	a		
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		拡大	維持	縮小	休廃止	
	拡大		C	B	A	
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214303	
事務事業名		資源回収推進事業		担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画 体系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-3	地球温暖化防止と資源の有効利用を進める		款	04	衛生費
					項	02	清掃費
根拠法令条例等	資源の有効な利用の促進に関する法律			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 62年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度				

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 町民 ㊧ 集団資源回収を行う団体(登録団体)	人 団体	46,518 101	46,631 101	46,532 101
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	ごみの減量化と資源の有効活用を図るため、資源回収に関する取組を行う ・資源回収に対する啓発 ・集団資源回収実施報告書の受領、集団資源回収団体への奨励金の交付				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	集団資源回収実施報告書受領数	件	目標	900	900	66.4%
				実績	614	598	
イ	活動	集団資源回収奨励補助金額	千円	目標	4,490	5,250	70.3%
				実績	3,745	3,693	
ウ	成果	集団資源回収実施団体数	団体	目標	95	95	62.1%
				実績	64	59	
エ	成果	集団資源回収実施団体率(実施団体数/登録団体数)	%	目標	63.0	63.0	92.7%
				実績	63.3	58.4	
オ	成果	古紙及び古布回収量	t	目標	1,000	822	72.6%
				実績	643	597	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			3,978	5,250	3,737	5,250		
合計(A)			3,978	5,250	3,737	5,250	5,250	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,731	1,145	1,152	622		
	トータルコスト(A)+(B)		5,709	6,395	4,889	5,872		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.23	0.15	0.15	0.08		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ ごみ減量を推進するために、昭和62年から開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響もあり、回収量が減少している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、集団資源回収を自粛している団体もあり、町民より町に対し古紙、古布の問い合わせがあっている。
---	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	ごみの減量化と資源の有効利用は、上位施策にも取り組み内容として記載があり、上位施策の目指す姿に直結する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	資源回収が活発に行われることは、ごみの減量化やリサイクル化につながり、総合計画に掲げるごみの減量化と資源の有効利用を図ることとなり、意図は適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	資源有効利用促進法において、再生資源の利用を促進するように努めることが規定されており自治体が取り組む内容である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症防止の観点より集団資源回収の自粛が続き、回収量が減少傾向にある。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	集団資源回収は登録団体にて行っており、この事業において、集団資源回収を行う団体を対象とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	ごみの減量化と資源の有効活用を図るため、資源回収に関する取組を行うことは、有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	担当職員にて、集団資源回収団体の奨励金の交付事務を行っており、業務手順や見直し余地についてはなく、効率的に運用ししている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	ごみの減量化と資源の有効活用を図るため、資源回収に関する取組を行ううえで、必要なコストであり削減余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる国や県等の補助金はない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1214305
事務事業名	福岡県地球温暖化防止活動参画事業		担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画体系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	
	取り組み方針	14-3	地球温暖化防止と資源の有効利用を進める		項目	
根拠法令条例等		地球温暖化対策の推進に関する法律		個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 17 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度			

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民 ⑧ ⑨ ・省エネ、新エネについて理解が深まる	人	46,518	46,631	46,532
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	地球温暖化防止活動に関する情報提供等を行う ・研修会への参加				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	研修会参加回数	回	目標	1	1	300.0%
				実績	0	3	
イ	成果	啓発活動件数	件	目標	2	2	100.0%
				実績	2	2	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	0	0	0		
合計(A)			0	0	0	0		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		376	152	149	153		
	トータルコスト(A)+(B)		376	152	149	153		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.05	0.02	0.02	0.02		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成17年度に福岡県知事から地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受ける。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	-----------------------	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	地球温暖化防止活動に関する情報提供等を行うことで、省エネ、新エネについて理解が深まり、上位施策の地球温暖化対策防止につながる。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	省エネ、新エネについて理解が深まることは、地球温暖化防止につながり、上位施策に結び付き適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、地球温暖化対策を講ずる責務がある。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	開催される、研修会に積極的に参加を行っており期待する成果が得られている。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	地球温暖化対策の推進に関する法律により、町民を対象にしており、適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	地球温暖化防止活動に関する情報提供等を行うとしているが、町民に対し、省エネ、新エネについて理解が深まるか検討の余地がある。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	ホームページや広報誌だけの情報配信では、町民や事業所の行動変異にはつながりにくいため、業務手順等について検討の余地がある。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事業コストは人件費のみで適切である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる国、県等の補助金はない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
b		課題が少しあり業務の一部見直しが必要				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1314101	
事務事業名	道路違法広告物撤去事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える		款	08	土木費
根拠法令条例等	道路法、道路交通法、屋外広告物法、福岡県屋外広告物条例			目	02	道路橋梁費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始			個別計画	02	道路維持費	
				<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	⑦町道	m	156,556	156,728	156,954
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・道路通行時の視認性が確保され、安全通行できる 福岡県屋外広告物条例に基づき、町内道路の安全通行の妨げになる看板、張り紙等を撤去する ・業務委託契約事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	撤去作業実施回数	回	目標	12	10	5
				実績	10	5	50.0%
イ	活動	撤去した看板等の数	枚	目標	500	300	20
				実績	40	18	6.0%
ウ	成果	違法道路看板等撤去率(撤去数/違法に設置された数)	%	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	100.0	100.0	100.0%
エ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			803	473	396	454		
合計(A)			803	473	396	454		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,656	83	83	79		
	トータルコスト(A)+(B)		2,459	556	479	533		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.22	0.01	0.01	0.01		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町内道路の電柱、ガードレール等の看板、張り紙等により、交通標識や案内板が、見えにくくなっており安全な通行が妨げられているため。	②事務事業を取り巻く環境の変化 看板、張り紙等の撤去により、道路の安全な通行ができるようになった。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 定期的に撤去作業をおこなっていることで、道路等の交通の安全が保たれているという意見が寄せられている。
---	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	違法広告物を撤去し、町道が安全通行できるようになることは快適な都市基盤につながる。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	違法広告物を撤去することで道路通行時の視認性を確保できるため適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	道路法、道路交通法、屋外広告物法、福岡県屋外広告物条例に基づき、自治体が主体で取り組むのは妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	確認している違法広告物は除却撤去しているため	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町道を対象施設としているため適切である	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	違法広告物に対して、必要最低限で撤去を行っており、法等に基づいて簡易除却する方法が最も有効な手段である	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限で計算しているため適正である 簡易除却の業務を業者に委託して、効率的に行っている	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	年々減少傾向にあるため見合った費用の確保が必要である	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	補助金等はないため適切である	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	違法広告物の撤去件数は年々減少傾向にあり良好な道路環境を維持することができているため、今後の実績を考慮して、予算額や活動の検討を行う。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
D		成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1314103	
事務事業名	緑化推進事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	08	土木費
					項	05	都市計画費
					目	04	緑化推進費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町が管理する桜(公園、公共施設以外) ⑧ ⑨ ・健全に管理される(桜の花が咲く)	本	567	560	553
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	公園や公共施設以外に植栽された桜(町花)の維持管理(剪定、消毒、周辺草刈)等を行う ・業務委託契約事務 ・桜ライトアップの実施				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	桜(町木)剪定数	本	目標	570	560	553
				実績	567	560	
イ	活動	桜(町木)消毒本数	本	目標	0	0	
				実績	0	0	
ウ	活動	桜(町木)植栽数	本	目標	3	3	3
				実績	0	0	
エ	活動	ライトアップ実施日数	日	目標	10	14	12
				実績	10	14	
オ	成果	開花率(開花した桜/管理する桜)	%	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	100.0	100.0	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			9,335	9,602	8,761	10,020		
合計(A)			9,335	9,602	8,761	10,020		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,127	1,144	1,143	382		
	トータルコスト(A)+(B)		10,462	10,746	9,904	10,402		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.15	0.15	0.15	0.05		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 多くの桜の苗木が植樹され、それに伴い維持管理が必要のため。	②事務事業を取り巻く環境の変化 樹木の成長により暗がりができたり、枝葉が近隣の民家等に張り出している場所が増加してきた。また、植樹されて年数が経っており樹木が弱くなってきており枯れかけているものも見受けられる。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 「落ち葉が雨どいに詰まるので枝葉を落として欲しい」「樹木を間引きして欲しい」など、近隣住民の方からの苦情や要望が増えている。
---	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	桜(町花)を健全に管理することで、花が咲き、美しいまちの実現に貢献している。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が管理する桜が健全に管理されることで、総合計画に掲げる美しいまちの実現につながる。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町の事業として植樹されているため、町が管理を行う必要がある。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	剪定や消毒など、適正な管理を行っており、期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町が管理する桜を対象としているため適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	定期的な剪定や消毒を行うことにより、健全な管理を行っている。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	専門業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で事業を実施している。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	消毒については発生した際のスポット対応としており、剪定に関しても必要最低限で実施しているため削減は難しい。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	桜の維持管理に関しての補助等はないため、適切である。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1314104	
事務事業名	花づくり事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-1	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	08	土木費
					項	05	都市計画費
					目	06	花づくり事業費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 12 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 志免町(町域)	km2	8.69	8.69	0.00
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	⑧				
		⑨ ・花がいっぱいあふれる街並みとなる				
		育苗センターで花の育苗を行い、町内会、小中学校などの各種団体の協力を得て、通りの多い道路沿いの花壇や公園等に花植えを行う ・花の種やプラグの購入、育苗、各種団体との花植えの連絡調整、配達、花壇整備 ・育苗センターの維持管理				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	花苗の育苗数	鉢	目標	50,000	40,000	0
				実績	43,477	41,535	103.8%
イ	活動	町が植込み、管理した箇所数	箇所	目標	20	34	0
				実績	24	41	120.6%
ウ	成果	花植え本数	本	目標	50,000	40,000	0
				実績	42,833	39,722	99.3%
エ	成果	協力団体が植込みした箇所数	箇所	目標	56	45	0
				実績	47	39	86.7%
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			7,177	4,977	4,744	0		
合計(A)			7,177	4,977	4,744	0		
(内 会計年度任用職員人件費)			5,062	3,950	3,761			
正職員人件費[按分](B)			1,887	3,747	3,746	0		
トータルコスト(A)+(B)			9,064	8,724	8,491	0		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.25	0.49	0.49	0.00		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 地域住民やボランティア参加による街並み景観づくりのために、平成12年4月に、「花いっぱい運動」が開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 開始時期と比較して、花植えに対する認識は少しずつではあるが増加してきている。学校・幼稚園・保育園関係は施設内での花植えが定着しているが、本来の目的である道路沿いや公園などでの花植えボランティア団体は参加人数が減少傾向にある。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 地域住民から、「花で町がきれいになった。」との意見が多く聞かれる。各種参加団体等からは、「苗の種類は多い方がいい」「開花期間の長い花を植えたい」等の要望があった。町議会からは、「町内の一箇所のみでは費用対効果がない」「廃止を含め検討を」「逆に町全体に花植え箇所を増やしては」との意見がある。
---	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	花を植えることで美しい景観が保て、植栽している花壇は除草や清掃作業を行っている為、美しいまちを維持することに貢献している。	2			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			花があふれる街並みを作ることによって、町民にとって良好な住環境を保つことができるが、花植えが特定の箇所のみとなっており、町全体を花があふれる街並みとすることができない。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			総合計画に掲げる町が取り組むべきことである「美しいまちを維持する」ことにつながるため妥当である。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	行政だけで花植えできる箇所が限られるため、ボランティア団体など住民の参加者や花植えできる箇所が増えることにより成果が向上する。	1			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い			町内全域を対象としているが、道路や公園に花植えできる箇所が少ないため、具体的に対象を設定することで、より効果的な事業を行うことができる。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い			育苗センターでの育苗や配達を外部へ委託することで、大幅に効率化することができる。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	花植え箇所や育苗センター作業人数の縮小などを行い、最低限の職員で実施しているが、委託等での対応も検討する必要がある。	1			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い			委託対応の場合は削減できる。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			活用できる補助等はないため適切である。		
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など) この事業は花づくりハウスで育成した苗を、ボランティアの方々から町内の花壇に植えていただき美しい街並みを保つことが目的である。これまで、道路や公園のほかに民有地の花壇等を借り受けてボランティアの方々から花を植えていただいていたが、民有地の花壇返却が続き令和3年度には民有地花壇が0箇所となったことで大きく町内の花壇が減少した。また、ボランティアの募集についてホームページでの掲載内容の見直し等を行い新規参加者の増加に努めたが、新規参加者よりも、既存のボランティア団体や参加者が高齢化などもあり辞められる方が多く、植えていただける箇所についても減少していることから、道路や公園の花植え箇所の多くは会計年度職員で植えており事業目的のとおりとなっていない。そのため、公園花壇については、公園管理事業で委託、公民館・小中学校・保育園への花配りは廃止、県道花壇も廃止して県に返却を検討する。したがって本事業は廃止とする。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
合計6点	c	b	a	a			
C		課題が多くあり業務の大幅な見直しが必要					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	D			
縮小		F				
休廃止		G				
—		廃止済				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1314401	
事務事業名	片峰山緑地保存事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画 体系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
	取り組み方針	14-4	貴重な自然環境を守る		項	05	都市計画費
					目	04	緑化推進費
根拠法令条例等	都市緑地法、志免町緑地保全と緑化推進に関する条例及び施行規則、志免町緑地保全林地区等保全事業補助金交付要綱			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 59年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度				

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		⑦ 緑地保全林地区対象地	m2	43,627	43,627	43,627
		⑧				
②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・緑地が保全される					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	緑地保全林地区に指定して、緑地の保全と緑化の推進に要する費用の一部を補助する ・補助金申請の受付、支払				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金申請人数	人	目標	6	7	100.0%
				実績	7	7	
イ	活動	補助金額	千円	目標	282	423	100.0%
				実績	423	423	
ウ	成果	保全林地区指定承諾[補助金交付]面積(民有地)	m2	目標	28,197	28,197	50.1%
				実績	14,120	14,120	
エ	成果	保全林地区指定面積(町有地)	m2	目標	15,430	15,430	100.0%
				実績	15,430	15,430	
オ	成果	保全林地区指定率(保全林指定面積/保全林地区対象面積)	%	目標	100.0	100.0	67.7%
				実績	67.7	67.7	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			752	868	809	868		
合計(A)			752	868	809	868	868	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		448	841	840	79		
	トータルコスト(A)+(B)		1,200	1,709	1,649	947		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.06	0.11	0.11	0.01		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 都市化を目指した開発による緑地の減少を防ぐため、緑地の保全を行う。	②事務事業を取り巻く環境の変化 保全区域及び周辺地域については特に変わっていない。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	--	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	良好な自然環境を形成している緑地を、緑地保全林地区として指定することで、緑地の適正な保全と緑化の推進を図ることができ、町内の貴重な自然環境を守ることに貢献している。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町緑地保全と緑化推進に関する条例に基づき緑地の保全を行っているため適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	都市緑地法、志免町緑地保全と緑化推進に関する条例及び施行規則、志免町緑地保全林地区等保全事業補助金交付要綱に基づき、自治体が主体となることは妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	緑地保全林地区未指定の土地の地権者に承諾を得て、緑地保全林地区の指定を行うことにより、成果向上を図る余地がある。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	大規模な緑地で、条例により町が指定した地区であるため。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	緑地の保全を行うためには、維持管理の費用が発生するため、補助金の交付を行うことが適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最低限の事務従事時間で取り組んでいるため、削減の余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	条例に基づき補助金を設定しているため適切である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	本事業において活用できる補助はないため適切である。	

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	未指定地区に関して承諾を得て、緑地保全林地区の指定を行うことにより、成果向上を図ることができるが、対象の土地は個人の財産であるため、状況を見極めながら今後も引き続き取り組んでいかなければならない。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1314402	
事務事業名	緑地保全会支援事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-4	貴重な自然環境を守る		款	08	土木費
					項	05	都市計画費
根拠法令条例等	都市緑地法、志免町緑地保全と緑化推進に関する条例及び施行規則			目	04	緑化推進費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 59 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 緑地保全会	団体	4	4	4
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・管理する緑地の保全が行いやすくなる				
		神社周辺等のまとまった緑地の保全のための費用の一部の補助を行う ・補助金申請受付、支払				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金交付団体数	団体	目標	4	4	100.0%
				実績	4	4	
イ	成果	補助金額	千円	目標	825	825	100.0%
				実績	825	825	
ウ	成果	保全された緑地面積(補助金対象面積)	m2	目標	19,934	19,934	100.0%
				実績	19,934	19,934	
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			825	825	825	825		
合計(A)			825	825	825	825		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		448	841	840	461		
	トータルコスト(A)+(B)		1,273	1,666	1,665	1,286		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.06	0.11	0.11	0.06		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 都市化を目指した開発による緑地の減少を防ぐため、緑地の保全を行う。 志免町には、古来より神社が4箇所が存在し、地域の方々や町民の憩いの場所として利用されており、この神社内の緑地保全と環境整備を行うための一部負担金として、昭和59年より助成事業を行っている。	②事務事業を取り巻く環境の変化 地域の方々や町民の憩いの場所として利用されており、緑地保全と環境整備を行ってもらっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	--	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	神社周辺の貴重な緑地が保全されることで上位施策の目指す姿の実現につながる。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町緑地保全と緑化推進に関する条例に基づき緑地の保全を行っているため適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	適正に緑地を管理してもらうことが、総合計画に掲げる町が取り組むべきことである「貴重な自然環境を守る」ことにつながるため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	適正な緑地管理につながっている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	緑地を保全する場所が他にないため。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	補助金の交付により、緑地の管理が適正に行われている。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最低限の事務従事時間で取り組めているため、削減の余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	補助金額を抑えた場合現状のような管理が難しくなるため。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる補助等はないため適切である。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など) 今後も事業を継続していくことで、緑地の保全を支援していきたい。
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c	c	
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1314403	
事務事業名	河川美化活動団体支援事業			担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-4	貴重な自然環境を守る		款	08	土木費
根拠法令条例等				個別計画	項	03	河川費
					目	01	河川総務費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 15 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 河川美化活動団体(クリーンupうみ川実行委員会)	団体	1	1	1
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	宇美川河川周辺の美化活動に対して、補助金の交付等の支援を行う ・広報紙掲載による広報活動支援 ・補助金交付事務 ・職員の活動への参加				
		・活発な活動が行われる				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	広報掲載回数	回	目標	1	1	100.0%
				実績	1	1	
イ	活動	補助金申請件数	件	目標	1	1	100.0%
				実績	1	1	
ウ	活動	町職員の活動参加人数	人	目標	18	17	52.9%
				実績	10	9	
エ	成果	河川美化活動実施日数	日	目標	1	1	100.0%
				実績	1	1	
オ	成果	補助金額	千円	目標	50	50	14.0%
				実績	50	7	
カ	成果	町民の活動参加人数	人	目標	300	300	16.7%
				実績	50	50	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			50	52	7	52		
合計(A)			50	52	7	52	52	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		598	992	992	619		
	トータルコスト(A)+(B)		648	1,044	999	671		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.08	0.13	0.13	0.08		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成12年度に町民による「クリーンupうみ川実行委員会」が結成され、河川美化に関する活動が進められる中、平成14年度に町に対して活動補助金の要望があり、平成15年度より補助金を交付している。	②事務事業を取り巻く環境の変化 開始当初と比べ、河川美化活動を通じ協働意識が向上し、さらには、参加者を含む住民の河川愛護意識が感じられる。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 実行委員会からは、「多くの住民、町及び建設協会の協力で、この活動が成り立っている。」との意見がある。
---	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	河川美化団体の活動に参加する町民が増えることで環境美化・環境問題を考えるきっかけとなり、清潔で美しいまちづくりへつながる。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	河川美化活動を活発化させることで、河川愛護の啓発活動となり、自然環境の保全につながっているため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が主体的に支援することで、参加者を向上させ、河川愛護意識の啓発及び自然環境の保全意識を向上させることができるため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	ボランティア団体を積極的にバックアップし、広報等の媒体を利用したPR活動に協力することで、河川美化活動への参加者増加に期待できるため。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町内にて活動している河川美化活動団体が1団体であるため。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最も幅広く周知を行うことができる広報等のPR活動に協力しているため。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	例年滞りなく事業を実施できているため。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	団体の活動に係る最低限の予算であるため適切である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町として活用できる補助金等はなし。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果) コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1314404	
事務事業名	森林環境譲与税活用事業			担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総合計画系	施策	14	快適な生活環境の維持と循環型社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	14-4	貴重な自然環境を守る		款	06	農林水産業費
					項	02	林業費
					目	01	林業総務費
根拠法令条例等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律			個別計画	志免町森林環境譲与税活用計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 元 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度				

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		⑦ 森林環境譲与税基金	千円	1,422	3,276	1,630
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・木材利用のために、積極的に基金が活用される。				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	志免町森林環境譲与税活用計画に基づき、木製品の導入又は公共施設の木造化等を促進する。				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率	
ア	活動	一般会計繰入金額	千円	目標	4,680	3,000	6,500	100.0%
				実績	4,408	3,000		
イ	成果	木製品等購入件数	件	目標	1	0	0	
				実績	1	0		
ウ	成果	公共施設等の木造化等件数	件	目標	1	1	2	100.0%
				実績	1	1		
エ				目標				
				実績				
オ				目標				
				実績				
カ				目標				
				実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			1,408	0	0	0		
一般財源			4	7	2	7		
合計(A)			1,412	7	2	7		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,507	1,529	1,529	1,858		
	トータルコスト(A)+(B)		2,919	1,536	1,531	1,865		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.20	0.20	0.20	0.24		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ パリ協定の枠組みにおけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るための地方財源を安定的に確保し、森林関連法令の見直しを踏まえ平成31年度税制改正において、森林環境譲与税が創設された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律及び森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律施行規則が平成31年3月に制定された。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 議会及び関係団体からの町の用途についての、要望及び問い合わせがある。
--	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	森林環境譲与税は森林整備及びその促進に関する費用に充てられており、貴重な自然環境を守ることに繋がる。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	木材利用の推進のために公共施設の木造化や木製品の購入しており、目標は達成している。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人員で行っており、削減余地がない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					